

47-11

前因各誠二思繼不亦行  
登記事項部教示、所迅速賜二度有願心致一者。

昭和28年12月2日

[Redacted]

民生句世語無邪空馳船張

啟

53

姓名		[Redacted]	
出生年月日	[Redacted]	出生年月日	[Redacted]
籍貫	[Redacted]	籍貫	[Redacted]
職業	[Redacted]	職業	[Redacted]
教育程度	[Redacted]	教育程度	[Redacted]
婚姻狀況	[Redacted]	婚姻狀況	[Redacted]
其他事項	[Redacted]	其他事項	[Redacted]
備考	[Redacted]		
申請人	[Redacted]		
保證人	[Redacted]		
申請日期	[Redacted]		

口口口口

口口口口

21

中 致 被 吸

大シ

死亡番

所屬 國有名 戸十三平行場大路

調製者 蜀州 二六八

徵集(任官)役職兵 現 一筆 後 四。結

留守現住所 在 左 人 令

死亡年月日 二十一年八月十四日

死亡場所 山ノ尾院

死亡時由 鶴ノ口ノス

姓名 甲

年 月 日 記

入 事 漢 十 六 日 事 務 記

補 注

28-12

地方志記部錄作死者者與書

調錄者

白

新成學人

官名

名

名

名

名

所為部隊

官

區名

區名

區名

區名

區名

區名

區名

本志

本志

本志

本志

本志

本志

本志

本志

35  
19-13

世帯別 戸数  
 世帯別 戸数  
 世帯別 戸数

死亡者覺書

製者

部除號

南一五九一四部除號

官氏名

大原

本籍地

延留品

氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品

於總務省陸地支局(取扱者印)



世帯別 戸数

死亡者覺書

製者

部除號

南一五九一四部除號

官氏名

大原

本籍地

延留品

氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品
氏名	氏名	區分	事由	場所	年月日	區分	本人關係	本籍地	延留品

於總務省陸地支局(取扱者印)



死亡現認證明書

昭和 21 年 5 月 27 日 勸業廳 釧路

注の意 一現認事由は当時の情況を詳載し記入する 一本証の書は三部作製する 一階級は必ず死亡するを記載する 一死亡区分戦死の時は受傷箇所を戦病死のときは病名を病年月日と記載する 一死亡場所、死亡区分、死亡年月日の確たる正確な時は甲概ね確實なるときだけ乙疑わしいときは丙と先の下に記載する	現認事由 右炭酸運搬作業中ノ人として 直下ニ自動車ニテ病院ニ搬送ニ於テ 死亡ス		死者 氏名 [Redacted]		死亡前階級 [Redacted]		本籍地 [Redacted]		所属部隊 [Redacted]		死亡場所 山口三ノ病院		死亡年月日 昭和 21 年 5 月 27 日		死亡区分 焼死		受傷箇所 全身		遺骨遺留品 [Redacted]		疾病年月日 昭和 21 年 5 月 26 日		本籍地 [Redacted]		階級氏名 佐長 [Redacted]		氏名の下に必ず捺印する	
	元所属部隊 第 2 鐵道監部		死亡場所 山口三ノ病院		死亡年月日 昭和 21 年 5 月 27 日		死亡区分 焼死		受傷箇所 全身		遺骨遺留品 [Redacted]		疾病年月日 昭和 21 年 5 月 26 日		本籍地 [Redacted]		階級氏名 佐長 [Redacted]		氏名の下に必ず捺印する									

	御隊	
	陸軍	
	病死	
	赤痢	
	病院	
	乙	
	亦	
	不	

氏名

海軍 爲子 陸軍

27-11

公恩 誠正 孔聖 德不  
 左 祝 享 頌 所 故 不 亦 返 送 賜 度 卹 顧 心 致 一 下  
 和 乙 年 12 月 乙

45-12

民生局世話部航空船舶班

149

殿

死 明 資 料 案

本籍地	[Redacted]		
氏 名	[Redacted]	生 年 月 日	[Redacted]
部 隊 團 員 名	少 尉 大	選 稱 職	第 一 專 隊 一 又
已 知 傷 情	以 側		
死 亡 日 時	昭 示 ( 坐 位 )	昭 示 以 9.15 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )
死 亡 場 所	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	( 昭 示 )
死 亡 原 因	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	( 昭 示 )
死 亡 年 月 日	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	
死 亡 階 級	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	
遺 留 財 產	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	
履 歷	主 要 事 業	年 月 日	部 隊 專 車
	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )
	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )
備 考	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )
	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )
	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )	昭 示 ( 昭 示 )
所 屬 部 隊 名 稱	[Redacted]		
所 屬 部 隊 名 稱	[Redacted]		

①

中 波 放 送

2012

君ノ戸丁ニ就テ

昭18.4.1 固有名稱 第一航空軍 第四航空教育隊入隊

昭18.7.5 昭18.1.30 所属部隊名不明 (有復傷者ノ部隊不明トシテモ其ノ部隊名不明ニモテ)

昭19.1.30 固有名 第一飛行場大隊 通稱 第一二六二部隊

昭20.7. 航空部隊一部編成者ノ多ク他部隊へ転属

向モテラ 停戦

昭20.11月5月12月 ソ聯邦イェルケツク州タウセツト市管区ノ收容所

ニ入所 (本人ヲ収容)

昭21.4月 ソ聯邦イェルケツク州タウセツト市管区ニテブルガヤ

第三病院若三ニルマス(若森)ニ入院 (慢性胸膜炎ノ多ク)

昭21.7月17日 恢復状態ニテリ独歩、日光浴等ノ輕散歩許可

(昭21年4月ヨリ同年7月ニテハ現認)

昭21.9.15 入院以來付添部ニセル上長兵大連ヨリ腸結核ニテ

天七... 通...

安置 同病度ニ於テ埋葬ニ遣骨 同病度ニ安置

也申

徵集年

昭和十七年徵集

紋種

現役 第一補老兵 何レナルカ記憶ナシ

兵種

飛行兵 (雷氣工手)

昭和十七年

兵種

五

45-1

2014



現認證明書

本籍地

故陸軍上等兵

右の者はソ連領オンドルガ收容所にて各種労役に従事中、昭和二十一年九月十七日「赤痢」に罹患し同所で療養中のところ、昭和二十一年九月二十三日同疾病に因り死亡したものであることを證明する  
なお死亡當時の状況は、左のとおりである。

記

現認者は、死亡者と同收容所に於て日常起居を共にし、終戦前私  
は故 [redacted] 氏の分隊長として、軍務に服していた関係から一層親密な  
間柄で、なお同様に他の現認者 [redacted] 氏とも終始行動を共に  
していたものであります。死亡者の當時の状況は [redacted] 氏の証  
明書記載内容と全く同一であり、發病前の苦役は、実に筆舌以上のも

のがあり、連日の作業で身心共に極度の疲労を來したことが遂に病魔に対する抵抗力を失ったものと思はれるのであります。

私は本人發病のときから常にその症状を看過を見守り、作業の暇に時折病室にこれを見舞い、救勵に努めました。が現地の医療施設の状態と、連側の誠意のない加療等も原因して遂に昭和三十一年九月二十三日死亡したものでありまして、かかる状況下に死亡してゆく同胞は毎日絶えないような悲惨なものであります。

死亡状況については現にこれを認めており、以上の如く、日常の重労働に起因したものであることを重ねて附記します。

右証明する。

昭和二十九年七月廿日

現認者

(階級、氏名) [Redacted]  
(住所) [Redacted]  
主計軍曹 [Redacted]



現認證明書

本籍地

故 陸軍上等兵

右の者は「ソ連領<sup>印</sup>オンドルガ收容所」にて労役に従事中、昭和二十一年九月十七日「赤痢」に患し、同所にて療養中、昭和二十一年九月二十三日同疾病に因り死亡したことを現認しており、ここに証明する

(なお死亡當時の細部状況は別紙付屬書申立のとおり)  
昭和二十九年二月十五日

現認者

別紙付屬書類所存時

41-14

2017



現認證明書

本籍地

陸軍上等兵

オンドル收容所とあるは「プカ多女遊藝場」  
分所である。

オンドルが收容所にて労役に従事中、昭和

二十一年九月十七日、赤痢に患し、同所にて療養中、昭和二十一年九月二十三日同疾病に因り死亡したことを現認しており、ここに証明する

(なお死亡當時の細部状況は別紙付属書申立のとおり)

昭和二十九年二月十五日

現認者

朝鮮府属書類所付録

41-14

死亡者確認證明書

一、死亡者所属部隊名 固有名 第五六对空無線隊

一、徵集年(任官年) 役種 補兵 福飛 昭和十八年徵集

一、死亡者本籍地

一、官等級(發令年月日) 死亡前階級 (享年) 一發令年月日 昭之、死亡後階級

一、氏名 年 月 日

一、死亡年月日時 死亡區分 昭和二十一年 九月二十五日 午

一、死亡場所 シベリア ソフガワニ

一、死亡理由 (戦傷) 死に在りては病弱及び受傷 昭二十一年九月三日自発病入院

一、遺留品の状況 シベリア ソフガワニ才五枚 容所 保管 (中耳炎より脳へ進行す)

右確認證明す

元所属部隊名 第五一五四部隊

現住所

元官等級氏名 元軍曹

征集年月日 昭二十一年 八月二十五日

辨 上

九華真武(明)證明信卷三第 九日三五 銅陳

同... 籍地... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

身... 號... 號... 號...

30/

14-11

中 波 放 送

前署 誠 恐 難 不 加 嚴 正 對 待 言  
 左 記 事 項 仰 教 示 毋 違 違 賜 日 度 閱 報 公 致 一 事。

昭和 年 月 日

49-11

民生局 委託 郵政 航空 郵船 課  
 啟

100

航 空 資 料 表

全 籍 地	[Redacted]	
氏 名	[Redacted]	昭和 年 月 日 [Redacted] 年 月 日 [Redacted]
國 籍	法 國 航 空 隊	通 譯 員 為 天 文 口
職 務	副 官	[Redacted]
航 空 機 關	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 型	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 號	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 名	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 種	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 日	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 時	法 國 航 空 隊	[Redacted]
航 空 機 處	法 國 航 空 隊	[Redacted]
備 考	一、航 空 機 號 為 法 國 航 空 隊 用 日 誌 記 入 之 下 之 16. 後 補 充 一	
現 狀	[Redacted]	
備 註	[Redacted]	

郵 政 長 官

死亡者覺書

世話課

朝鮮 航空隊	部所 隊屬	官等	氏名	區分	事由	揚所	年月日	確度	本人關係	本籍地 <small>(留學與官者住原氏姓)</small>	遺留品
8.3			[Redacted]	死亡	差養病	自勤中	2/10/10	乙	元中將	[Redacted]	不明
調製者		部隊號		歸鄉先		朝鮮		平壤		航空隊	
		官氏名		上下							

於舞鶴上陸地支局(取扱者)

印

37-12

書 明 証 認 現 確 亡 死 邦・海・陸

資 料 提 供 者 死に処したる 死亡現認 死体と処理す	者 亡										死						
	遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元 死に理由 (傷病名)	諸 死亡場所	亡 死亡日時	死 死亡区分	發 病場所	究 病時期	区 分	本 籍 地	(開戦時の住所 在留地)		城名	部隊又は職 称	所屬(所轄) 有 固		
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊
な										昭和三十二年八月頃	昭和三十二年八月頃	内	[Redacted]		春 2781	細 部 中 地 区	獨 歩 三 一 大 隊

裏面記載上の注意をばおいて下さい。〔察及び要旨の各欄は記載に及びません〕

資 料 提 供 者  
死に処したる  
死亡現認  
死体と処理す

死に処したる  
同病院  
工生勤務  
員と入院患  
者

所住現  
一三疎飛  
職部所所  
隊隊所所

級階氏  
氏  
氏  
氏

死亡現認

巨病棟  
D病棟

院長  
重患  
治療  
治療  
治療

死亡現認  
死亡の状況及び参考資料  
昭和三十一年八月頃  
昭和三十二年八月頃  
昭和三十二年八月頃  
昭和三十二年八月頃

死亡現認  
死亡の状況及び参考資料  
昭和三十一年八月頃  
昭和三十二年八月頃  
昭和三十二年八月頃  
昭和三十二年八月頃

兵 種 現  
歩 現

階の階時死  
(業職名職は又)  
伍

名 氏  
年 月 日生

女 (男)

信通	死
尉少	者
[Redacted]	善
[Redacted]	明
病死	區
結	分
核	專
病院	由
昭	所
昭	年
[Redacted]	日
收	大
容	日
[Redacted]	大
[Redacted]	日
擇	日
單	日
特	日
文	日

11-11